



けやきの会便り

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 埼玉県支部

NPO法人 KHJ 埼玉・群馬「けやきの会家族会」会報 No156 (2017年10月1日発行)
家族と家族をつなぐ「コミュニケーション」ペーパー <http://www.khj-keyaki.com/>

前回(9月3日)の月例会では・・・

[第一部] ガタソ ①チャリティバザーの御礼 ②全国大会 in 東京のお知らせ(10/28・29)事前申し込み必要
③精神科医師のグループ相談会のお知らせ(9/10) ④ひきこもり新聞のご案内 ⑤年会費納入のご案内

[第二部] 講演「生活困窮者自立支援制度ってなにを支援してくれるの?」：服部孝様(埼玉県福祉部少子政策課子育て環境整備担当主幹) <途中◇ブレイク体操を挟んで> 質疑応答 などが行われました。

★講演「生活困窮者自立支援制度ってなにを支援してくれるの?」

・・・講師：服部孝様(埼玉県福祉部少子政策課子育て環境整備担当：主幹)

講師の服部様は「社会保険労務士」「1級ファイナンシャルプランナー」の資格を持ち、埼玉県職員として社会福祉、子どもの貧困等に関わっておられます。今回は「生活困窮者自立支援法」(以下「同法」)について、社会的背景から法律の真髓を非常にわかりやすくご講義いただきました。

1生活困窮者とは：同法によると「現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と漠然と示されている。生活保護受給者はリ・マソック後過去最高を更新して以来増え続け、セ・フィンネットとしてその手前で生活を再建するための支援が必要となり、平成27年に同法は施行された。制度の狭間で困っている全ての人を救うため、あえて具体的な要件を設けていないのが同法の特徴！

2生活困窮者が失う3つの「エン」：①「円」…経済的困窮 ②「縁」…社会的孤立 ③「援」…制度の狭間
これら3つを失っている生活困窮者は自分から声を上げることができず(ザリツ・プア)、周囲の人が「声なき声のSOS」に気づくことが大事。

3同法による支援：①実際の相談窓口は各市(※町村は県が実施主体) ②必須事業は2つ ③支援員は3種
1)必須事業①自立相談支援事業：生活保護に至る前の段階から一人一人の状況に応じ、本人と共に自立に向けた支援計画を作成する支援。「制度の狭間」に陥らない様、できる限り幅広く対応することとなっている。

2)必須事業②住居確保給付金：自立のために住居がある事は非常に大事！

3)任意事業：市によって任意で実施 ①就労準備支援事業 ②認定就労訓練事業(中間的就労) など

4相対的貧困と支援『自分の当たり前を疑え!』：食べ物がないという「絶対的貧困」に対し、普通の家庭では当たり前に行えることができない「相対的貧困」が日本には多く(7人に1人)「格差」が広がっている。少数派に対して排除的思考で考えると「指導が必要」「地域にいる困った人」となるが、自分の当たり前を疑って相手の背景を知ると「支援が必要」「地域にいる困っている人」ととらえられる。人が最も辛いと感じる状態は「孤立」(孤立しやすい人=①自尊心が低い②自意識過剰)である。貧困を自己責任と考える社会の中では「縁」と「援」を失ってしまう。排除のない孤立しないお互いに支え合う地域の実現が望まれる。

★服部様の講義はひきこもりの状態の子にも有用なことが多く含まれ、何より「困っている人を皆で助けよう」という強い意志が伝わってきました。会場からも活発な質問があり貴重な時間を過ごしました。

予告 11月の月例会は10/28(土)、10/29(日)に開催のKHJ全国大会 in 東京に振替となります

9月に同封の申込書で事前にお申し込みください(fax又メール&お振込み) **当日フリー参加は不可**

【1日目 10/28(土) 12:00~17:00 大田区産業プラザPI0 場所は大会チラシ裏面 11:15から受付開始】

基調講演「KHJのこれまでの歩みとこれからの展望」「シンポジウム」

【2日目 10/29(日) 9:00~18:00 明治大学アカデミーコモン 場所は大会チラシ裏面 8:15から受付開始】

8つの分科会に自由参加できます(移動も自由)

電話相談 月・水 9 時～11 時半
無料 通話料は利用者負担
048-651-7353 事務局

全国大会 in 東京 10/28(土)29(日)

- けやきの会の11月月例会はこの大会に振り替えとなります。
- 参加は事前申込 & 参加費お振り込みが必要です。
- 9月に同封した大会参加申込書にて各自お申込みができます。
皆様お集りください。

New! ひきこもり最前線 個別 CRAFT (Community Reinforcement and Family Training)

このプログラムは CRAFT 認知行動療法の個別版。国のガイドラインに登場するもので、ひきこもり対応の最前線です。『機能分析』、『会話練習』、『ホームワーク』を組みこんで親ごさんに問題解決の技法を分りやすく具体的に学んでもらうためのものです。ひきこもり～コミュニケーションの回復～望ましい行動を増やす～信頼関係の回復～援助の申し出～医療機関や支援機関へつなげる、という流れでテーマ毎に月1回計9回のプログラムに沿って進めます。多くの会員の方に実践していただき、その結果、変化がみられました。『各家庭が臨床現場』、日常生活の中で小さな刺激を加えることが大切。この刺激・反応の連鎖を積み重ねていきます。停滞期を脱する機会になるかもしれません。

個別CRAFTプログラムを希望の方はお申込みください。

田口(Meyers 先生のCRAFTワークショップ認定 KHJ 認定ピアサポーター けやきピアカウンセラー)

各種 個別相談(ピアカウンセリング) 訪問支援 きずな工房・ひより工房への同行支援

*個別相談 *就労ステップ相談 *CRAFT (家族のための認知行動療法 上記参照) *訪問支援
きずな工房・ひより工房への同行支援 *親亡きあとのマネープラン相談(キャッシュフロー作成、生命保険信託の紹介などお手伝いします)

(KHJ認定ピアサポーター けやき相談員が対応 ◆個人情報を守ります)

★年会費 H29 年度分の納入をお願いします 今からでも間に合います

★会員の皆さまにはいつも年会費の納入にご協力頂きお礼申し上げます。H29年度分の年会費の納入期限は9/30迄です。(年会費は会報の作成、印刷、切手代、会場費、「旅立ち」等に充てさせていただきます)

★過去退会された方の名簿の再登録もできますので希望される方やご不明な点は下記の田口へご連絡ください。納入方法は3通りあります。①H29年6月同封の郵便振替票をご使用 ②月例会受付にてその場で納入 ③郵便局に設置してある郵便振替票に郵便振替記号番号(下記)を記入しお支払い。 ☆=郵便振替記号 00100-6 番号 504684

特定非営利活動法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会 ●記号、番号を印字してある振替票の再発行をご希望の方は、4ページの最下部に記載の佐川宛にご連絡ください。お送りさせていただきます。

年会費は「けやきの会便り・旅立ち」の作成、印刷、郵送、会場費などの必要経費です。会員の皆さまのご理解とご協力お願い致します。

★新入会員への会報お届けは事務手続きの関係でひと月遅れる場合がありますが了承をお願いします。

●お近くの KHJ 支部の連絡先.....

- ◎ NPO 法人東東京「楽の会」市川乙充 (火・木 13:00～17:00) ☎3-5944-5730
- ◎ 西東京「萌の会」 須賀啓二 FAX 03-3883-2358 ◎山梨県「桃の会」 篠崎博子 ☎554-66-4073
- ◎ 神奈川「虹の会」 安田賢二 ☎80-2107-1171 ◎横浜ばらの会 鈴木恵美子 090-5764-3366
- ◎ 栃木県 NPO 法人とちぎ「ベリー会」☎28-627-6200 齊藤三枝子 ◎町田家族会 氏家和子 ☎ 042-810-3553(上野)
- ◎ 群馬「はるかぜの会」 板西玲子 ☎90-5325-3701 榎本 ☎80-3727-8726
- ◎ 千葉県 NPO 法人「なの花会」 藤江幹子 ☎70-2191-4888 ◎茨城県「ひばりの会」荒井俊 ☎47-364-7332

KHJ「けやきの会」事務局 さいたま市北区盆栽町 190-3 (正会員 入会金 2 千円) (賛助会員 入会金 1 千円 年会費 6 千円)

※ 初めてご参加の方は 月例会、学習会、個別相談会会場で「けやきの会」入会手続きができます。

また事前に田口代表へお電話にてお問い合わせもできます。048-651-7353 留守の場合は 080-3176-6674

★次ページに総合学習会プログラム・当事者居場所・BPD 相談会・家族教室その他を掲載 どうぞご覧ください

9月金曜学習会 『怒り は 大 切 な 感 情』 家族相談士 高橋 晋先生

1. 回復し始めたときに出てくる怒り 「怒り」はマイナス面もあるが、生き物が本来もっている感情です。ひきこもりの子は、自分の感情に蓋をして相手に気を遣って育ててきているので、自分の感情がつかみづらくなっています。そのため、友達関係につまずきいじめを受けていることもあります。いじめの傷は大きいといえます。こもっている間は自分を攻め続けています。辛いので自分を守るために自分への攻めを親のせいにして、親の気にいらぬことをぶつけてくることがあります。心がゆるんでエネルギーがもどり感情の回復していく時はイライラすることが多いので、この「怒り」は必ずしも悪いことではありません。
2. 怒りが出てくる意味 上記以外に、親の理解不足で追い込んだ結果の怒り、強迫神経症タイプで親に対するわだかまりが強い場合の怒りがあります。親は、子の暴力からは避けねばなりません。
3. 怒りを受け止める、間を空ける 多くの「怒り」は回復につながります。衝動的な怒りには、「そう・・・」と軽く受け止めましょう。過去の話は、捉え方が子と親では違うものです。子にとってはその子なりの真実です。凍りついてためこんでいた子からの話は、繰り返し聞いてあげたいです。
4. 本人が自分の感情とつながっていく経過 イライラを親に言葉でぶつけていくうちに子は自分の気持ちを感じられるようになります。やがて自分の弱音や本音が出せるようになると、会話に変化が生まれ親子の信頼関係はできてくるのです。※子はアドバイスを聞きたいのではありません。感じ方や考え方は人それぞれ。否定はしないで同調して聴く姿勢は人間関係全般にいえることだと改めて思った午後でした。

★下記プログラム表の黒文字が月例会 紫文字が学習会で行うものです。※家族 当事者限定

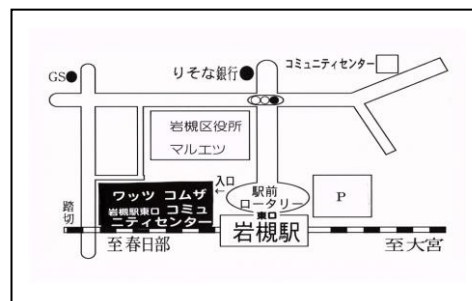
10/1(日)	13:00	アジアの貧困と日本のヒキコモリ	石川 清 朝霞ルーム	岩槻WATSU 5F
10/13(金)	13:30	医療と制度を有効に活用する	高橋 晋 家族相談士	岩槻WATSU 2F
10/28(土)	29(日)	11月月例会は全国大会に振り替えます	事前申し込みにて参加	大会チラシを参照
11/10(金)	13:30	居場所・支援者につなげる	高橋 晋 家族相談士	岩槻WATSU 2F
12/3(日)	13:00	CRAFT第1回(5回シリーズ)家族向け	田口 ゆりえ 代表	岩槻WATSU 5F
12月金曜学習会	お休み	12月金曜学習会はお休み		
1/7(日)	13:00	NHK 厚生文化事業団作成 DVD を視聴	『ひきこもりからの回復』	岩槻WATSU 5F
1/12(金)	13:30	親の育ち、生き方と本人の意識・感覚・行動	高橋 晋 家族相談士	岩槻WATSU 2F
2/4(日)	13:00	精神科の薬は怖いものなの? 医療につなげるタイミングはどんな時?	川島 篤視 薬剤師 渋川保健福祉事務所	岩槻WATSU 5F
2/9(金)	13:30	自立と孤立の違い~これからの生き方	高橋 晋 家族相談士	岩槻WATSU 2F

費用…日曜日は月例会参加費 1,000 円 ※会場・日程…上記プログラムで最新情報をご確認ください

金曜日は 1,500 円(一家族) 青年は無料

会場…東武アーバンパークライン 岩槻駅下車 東口徒歩すぐ
岩槻駅東口コミュニティセンター 通称ワッツコムザ
(ワッツコムザの電話 048-758-6500)

お問い合わせ…田口 080-3176-6674 048-651-7353



New 就労移行支援 『きずな工房』のご案内

★事務局の近くに就労移行支援事業所「きずな工房」が開所しました。機械部品の組み立て作業を行い賃金が出ます。(椅子に座っての軽作業)就労へ半歩進めたい方は体力回復と就労訓練にお役立てください。2年間継続利用できます。(1h/1日利用可)利用者負担金なし。交通費は自己負担。市内、市外の方。精神、発達、知的、難病の方対象。男女65才未満の方OK★医療機関に受診されていない方はご相談ください。書類提出で対象となります。★見学、相談、体験、ご希望の方は下記にご連絡を!★現在けやきの会元当事者が8名(男性7名女性1名)利用しています。

<< 『きずな工房』 就労移行支援事業所 >>

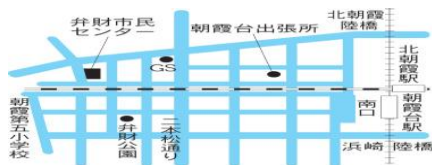
さいたま市北区盆栽町 386 (盆栽踏切、セブンイレブンそば)
(アクセス) ・東武野田線大宮公園駅から徒歩 6 分 ・宇都宮線土呂駅から徒歩 8 分 ・大宮駅が高崎線宮原駅からバス 12、13 分
きずな工房 ☎ 048-788-2533
または田口 ☎048-651-7353 080-3176-6674

New 就労継続 B 型 『ひより工房』のご案内

★『きずな工房の姉妹施設』。就労が難しい人や就労移行支援はハードルが高い人に適した施設です。本人の体調に合わせて無理なく長く(年齢制限なし)通える憩いの居場所。仲間やスタッフさんと軽作業(内職など)を行います。★自信がいたら「きずな工房」へ移ることもできます。★現在けやきの会から1名利用。★下見、見学、相談はお気軽に連絡を!! ★無料 さいたま市北区本郷町 166-1 048-780-2917(ひより工房)または田口へご連絡ください

CVN 家族教室 朝霞ルーム (併財市民センター)

全体会◆今月は 10/15(日)14:00~16:30 予約不要 1000 円
ミニゼミ「発達障害・バブルと薬物依存」
個別相談は石川へ要予約 3000 円/時 併財市民センター
(訪問サポート・南国への旅費・滞在・サポート 等有料)
訪問サポートは個別相談のうえ 青年居場所は無料 18:30~
◆お問い合わせ…石川(留守電にメッセージを!)
(070-5655-8376)または hangin83.jp@ybb.ne.jp



当事者居場所 さくら草クラブ

[ココ・カラ すまいる]

10/16(月)14:00~15:30

こころとからだを笑顔にしよう!!

軽い体操と楽しいゲームで体と心をほぐしませんか。気が向いたときだけでも参加できます。仲間に来てみよーかな~と思い始めた人はお気軽にどうぞ! 親ごさんだけの参加も歓迎ですよ!



[11月仕事体験・居場所は大会のためお休み]

居場所を兼ねた仕事体験です。月例会日の午前 10:30 から 1 時間、会報の封入作業を、午後は月例会の受付補助と封筒の切手貼りを行っています。ご本人の体調に合わせて、午前のみ、午後のみでも参加いただけます。まだ働く自信がないと思っている青年に最適です。最初は親ごさんと同伴いただく事もできます。

- ◇青年たちへ。相談タイムを設けています (会報)
- ◇会話の SST(トレーニング)希望者に実施中
- ◇おやごさんのみの参加やお手伝い、



お勧め図書
皆様からの
情報をお待
ちしています

「不登校・ひきこもりが終わるとき」
丸山康彦
「ドキュメント 長期ひきこもりの現場から」 石川清 (けやきの会 朝霞ルーム主宰) 洋泉社

☆埼玉・群馬 会員用 の「ひきこもりを生き抜く」のハンドブック紹介

生涯に渡るひきこもり支援の情報を集約。埼玉県、群馬県東部の会員ご家族とご本人のためのハンドブックです。公的支援情報を中心に載せていますから安心してご利用いただけます。保存用に購入しお役立てください。月例会場 1300 円 / 送付ご希望の方 1500 円 (郵便払込票を同封してお送りします)

- ◆送付ご希望の方は葉書または C メールにて下記要領でお申込みください
- 〒番号、ご住所、お名前、「ハンドブックの送付をお願いします」と明記
- ◇葉書で申し込む方・・・〒340-0111 幸手市北 3-17-5 佐川俊郎宛

◇携帯電話 C メールで申し込む方・・・080-1016-8180 佐川俊郎

